

## ●植物編

改訂版頁	普及版頁	項目名	誤	正
P39		シロスマレの宮城県カテゴリー	EX	CR+EN
P51		アカウキクサ	CR+EN	宮城県分布なしで削除
P93		ナベクラザゼンソウの写真	写真誤り	ザゼンソウ
P113		キノクニベニシダ	VU	宮城県分布なしで削除
P132		オオイワカガミの写真	写真誤り	イワウチワ
P136		コルモメズルの写真	写真誤り	コカモメズル
P141		タチコゴメグサ	タチコゴメグサ	ミチノクゴメグサ
P192		ネムロコウホネ	DD	宮城県分布なしで削除
P192		ツメレンゲ	DD	宮城県分布なしで削除
P193		ツツラフジ	DD	宮城県分布なしで削除
P194		ナルコユリ	DD	宮城県分布なしで削除

## ●動物編 鳥類

改訂版頁	普及版頁	項目名	誤	正
P223		ウズラの学名	<i>Coturnix coturnix japonica</i>	<i>Coturnix japonica</i>
P224		クマタカの学名	<i>Spizaetus nipalensis orientalis</i>	<i>Nisaetus nipalensis orientalis</i>
P225	P31	シジュウカラガンの学名	<i>Branta canadensis</i>	<i>Branta hutchinsii</i>
		シジュウカラガンの選定理由	カナダガンの孤立亜種で、越冬地は日本とアメリカ西海岸に限られている希少種。宮城県は数少ない定期的な越冬地である。	越冬地が日本とアメリカ西海岸に限られている希少種。宮城県は数少ない定期的な越冬地である。
		シジュウカラガンの分布の概要	冬鳥として宮城県に毎年少数が渡来する。宮城県以外では渡りの中継地になっている北海道石狩平野や秋田県八郎潟でも観察される。	冬鳥として、亜種シジュウカラガン( <i>B.h.leucopareia</i> )と亜種ヒメシジュウカラガン( <i>B.h.minima</i> )が宮城県に毎年少数渡来する。宮城県以外では渡りの中継地になっている北海道石狩平野や秋田県八郎潟でも観察される。
P228	P34	オオワシの学名	<i>Haliaeetus pelagicus pelagicus</i>	<i>Haliaeetus pelagicus</i>
P229	P35	アオバズクの学名	<i>Ninox scutulata</i>	<i>Ninox scutulata japonica</i>
P229		オオセツカの学名	<i>Megalurus pryeri pryeri</i>	<i>Locustella pryeri pryeri</i>
P231		アホウドリの学名	<i>Diomedea albatrus</i>	<i>Phoebastria albatrus</i>
P231		ハチクマの学名	<i>Pernis apivorus orientalis</i>	<i>Pernis ptilorhynchus orientalis</i>
P233		シロチドリの学名	<i>Charadrius alexandrinus</i>	<i>Charadrius alexandrinus dealbatus</i>
P236		ツミの学名	<i>Accipiter gularis</i>	<i>Accipiter gularis gularis</i>
P236		シノリガモの学名	<i>Histrionicus histrionicus pacificus</i>	<i>Histrionicus histrionicus</i>
		シノリガモの選定理由	宮城県は国内における数少ない繁殖地の一つである。	宮城県は国内における数少ない繁殖地の一つである。繁殖地域個体群のみ選定する。
P237		シマクイナの学名	<i>Coturnicops noveboracensis exquisitus</i>	<i>Coturnicops exquisitus</i>
P238		ハリオアマツバメの学名	<i>Hirundapus caudacutus</i>	<i>Hirundapus caudacutus caudacutus</i>
P238		ケリの学名	<i>Microsarcops cinereus</i>	<i>Vanellus cinereus</i>
P239		オオコノハズクの学名	<i>Otus bakkamoena</i>	<i>Otus lempiji semitorques</i>
P239		コノハズクの学名	<i>Otus scops</i>	<i>Otus sunia japonicus</i>
P240		アカショウビンの学名	<i>Halcyon coromanda</i>	<i>Halcyon coromanda major</i>
P240		ヤマセミの学名	<i>Megaceryle lugubris</i>	<i>Megaceryle lugubris lugubris</i>
P241		イワヒバリの学名	<i>Prunella collaris berythroptigia</i>	<i>Prunella collaris erythroptigia</i>

## ●動物編 汽水・淡水魚類

改訂版頁	普及版頁	項目名	誤	正
P260	P40	シナイモツゴの目	スズキ目	コイ目

## ●動物編 海岸地域の無脊椎動物類

改訂版頁	普及版頁	項目名	誤	正
P359	P70	カワアイの学名	<i>Cerithideopsis djarjariensis</i>	<i>Pirehella puriformis</i>
P361		ウネムシロの学名	<i>Hima hiradoensis</i>	<i>Nassarius hiradoensis</i>
P362		ナギサノシタタリの学名	<i>Microtralia acteocinoides</i>	<i>Microtralia acteocinoides</i>
P362	P71	ハマグリの【生息に対する脅威(減少の要因)】	生息地の破壊や水質汚染が生息にとっての脅威になる。本種が漁獲できるように箇所については、適切な資源管理が必要である。	生息地の破壊や水質汚染が生息にとっての脅威になる。本種が漁獲できるように箇所については、適切な資源管理が必要である。
P363	P72	スナガニの【分布の概要】	砂浜の潮間帯上部から潮上帯にかけて生息する。岩手県津軽石川河口で2014年に確認されたのが分布北限。	砂浜の潮間帯上部から潮上帯にかけて生息する。北海道室蘭市が分布の北限である。
P364		ヒナタムシヤドリカワザンショウの【形態】	殻長4mmでカワザンショウガイ類の中では中型。殻の色は赤褐色で光沢がある。従来東北地方でムシヤドリカワザンショウとされてきたものは本種のことである。	殻長4mmでカワザンショウ類の中では中型。殻の色は赤褐色で光沢がある。従来東北地方でムシヤドリカワザンショウとされてきたものは本種のことである。
P365		ムシロガイの学名	<i>Niotha livescens</i>	<i>Nassarius livescens</i>
P365		アカガイの学名	<i>Scapharca broughtonii</i>	<i>Scapharca broughtonii</i>
P371		ヒメムシロの学名	<i>Nassarius (Hima) multigranosus</i>	<i>Nassarius multigranosus</i>
P375		ウミカニムシの学名	<i>Halobisium orientale japonicum</i>	<i>Halobisium orientale japonicum</i>
P377		チビイトマキヒトデの学名	<i>Asterina minor</i>	<i>Aquilonastra minor</i>
P379		ヒバリガイモドキの学名	<i>Hormomya mutabilis</i>	<i>Brachidontes mutabilis</i>
P380		ジャムシの学名	<i>Neanthes virens</i>	<i>Alitta brandti</i>

●植物群落

改訂版頁	普及版頁	項目名	誤	正
P393		表1のタイトルの4行目	10:仙台市保全緑地	10:仙台市保存緑地
P394		単-26 特定植物群落	30	30, 106
P394		単-35 所在地	蔵王一町	蔵王町
P394		単-39 摘要	2013RLで, 旧単一群落の「西風蕃山の ブナ群落」を統合	2013RLで, 旧単一群落の「西風蕃山 のブナ群落」を統合, 仙台市特別緑地 保全地区
P395		単-44 希少群落名	柳津虚空蔵のモミ・イヌブナ群落	柳津虚空蔵尊のモミ・イヌブナ群落
P397		単-109 所在地	蔵王町	白石市
P399		表2のタイトルの4行目	10:仙台市保全緑地	10:仙台市保存緑地
P399		複-14 指定状況 その他	5	8
P399		複-15 指定状況 その他	7	8
P401		複-44の指定状況 自然公園	○	空白
P401		複-47の指定状況 自然公園	空白	○
P401		複-48の指定状況 国立・国定公園	空白	○
P401		複-50 特定植物群落	31, 106	31
P401		複-52 希少群落名	鳥の海の塩性地植物群落	鳥の海の塩性地植物群落
P401		複-52 希少群落名	蒲生の塩性地植物群落	蒲生の塩性地植物群落
P401		複-53 希少群落名	井土浦の塩性地植物群落	井土浦の塩性地植物群落
P406		下から12行目	崖錘地	崖錘地
P413		単-1 特記事項	特定植物群落(対象番号91)	特定植物群落(対照番号91)
P413		単-2 特記事項	特定植物群落(対象番号80)	特定植物群落(対照番号80)
P419		モクゲンジ群落 群落の概要	「…対馬、(山口県)から石川県、飛ん で…」	「…対馬、山口県から石川県、飛ん で…」
P420		単-21 選定理由	「…20~35cmになるアカマツで構成す る林で、…」	「…20~35cmになるアカマツが構成 する林で、…」
P421		クロマツ群落 県内の分布	「クロマツ群落は、松島地域から気仙沼 市…」、および「…海岸の急峻な岩礁 地に分限られる。…」	「自生由来と推定されるクロマツ群落 は、松島地域から気仙沼市…」、およ び「…海岸の急峻な岩礁地に分布が 限られる。…」
P422		クロマツ植林 県内の分布	「…地盤沈下の影響で、県内のクロマツ 植林の多くが消滅した。」	「…地盤沈下の影響で、県内のクロマ ツ植林の多くが甚大な被害を被った。」
P425		エゾウキヤガラ群落 県内の分布	「…に広く分布し、深川にまとまった群 落…」	「…に広く分布し、深川沼にまとまった 群落…」
P426		単-37 群落の位置	「JR阿武隈急行の南角田駅…」	「阿武隈急行の南角田駅…」
P428		単-44 群落の位置	柳津虚空蔵のモミ・イヌブナ群落	柳津虚空蔵尊のモミ・イヌブナ群落
P430		単-51 選定理由	「…丘陵地の南向き急斜面に残存する 温帯混交林で、…」	「…丘陵地の南向き急斜面に残存す る温帯混交林で、…」
P436		単-70 選定理由	「…この地域の極相林が見られる林分 であり、…」	「…この地域の極相林を彷彿とさせる 林分であり、…」
P437		ヨコグラノキ群落 県内の分布	「…七ヶ宿町若林山地内の有谷の…」	「…七ヶ宿町若林の有谷の…」
P438		単-75 選定理由	雉子尾川の川沿い(海拔260m)に高木 層に高さ10m内外の…」	雉子尾川の川沿いに高さ10m内外 の…」
P441		シバ群落 群落の概要・県内の分布(そ れぞれ1か所)	かつて	かつて
		シバ群落 県内の分布	鬼首草原	鬼首高原
P442		単-85 選定理由	「塩竈神社本殿の西側の高さ35m…」	「塩竈神社本殿の西側に、高さ35 m…」
P445		スギ群落 県内の分布	「…県内では大崎市(旧鳴子町)鬼首の 自生山の群落は天然分布とされてい る。」	「…大崎市(旧鳴子町)鬼首の自生山 の群落は天然林とされている。」
P449		単-102 保護保全の留意点	「林道は数十年放置され、…」	「林道は30年ほど前から放置さ れ、…」
P453		単-111 選定理由	「…林床にはヨシやカササゲが密生 し、…」	「…林床にはヨシやカササゲが密生 し、…」
P455		単-118 選定理由	「森林伐採後?に萱刈り場、…」	「森林伐採後に萱刈り場、…」
P459		複-7 群落の位置	「仙台市役所の北約2kmの地点…」	「仙台市役所の南西約2kmの地点…」
P460		複-12 特記事項	「三陸復興国立公園、特定植物群落(対 照番号7)」	「三陸復興国立公園」
P461		複-15 群落の位置	「…の地点(北緯:38° 02' 0 7"…」	「…の地点(海拔約30~150m、北 緯:38° 02' 07"…」
P461		複-16 選定理由	河川敷	河川敷
P467		複-36 選定理由	「加美町の北部に北部になる小さな沼 で…」	「加美町の北部にある小さな沼で…」
P467		複-37 選定理由	「…県内では海岸近くの池沼では数箇 所確認…」	「…県内では海岸近くの池沼で数箇所 確認…」
P469		複-42 選定理由	「…地熱地帯が小面積である。噴気孔 から少し離れた地温が45℃以下、冬季 には10℃より下がらない所に…」	「…地熱地帯が小面積である。噴気孔 から少し離れた地温が45℃を上回ら ない所で、なおかつ冬季でも10℃を下 回らない所に…」
P470		複-47 特記事項	空白	《特記事項》県立自然公園二口峡谷
P470		複-48 特記事項	空白	《特記事項》蔵王国定公園
P474		複-58 特記事項	国指定天然記念物、特定植物群落(対 照番号3)	国指定天然記念物、三陸復興国立公 園特別保護地域、特定植物群落(対照 番号3)